












日本海洋政策学会 年次大会講演・発表者


注：役職名は当時

第 7 回				
開催月日	2015/12/5			
開催場所	早稲田大学(西早稲田キャンパス)			
統一テーマ	海洋の未来と日本 —海洋の持続可能な開発に向けて—			
基調講演	成長戦略としての海洋政策	西村	衆議院議員	
	海洋の持続可能な開発に向けた今後の在り方	竹内	東京海洋大学 学長	
研究発表	水産物消費に由来する活性窒素の環境負荷評価とその低減策	種田	横浜国立大学 大学院	
	太平洋島嶼国の海洋管理能力と国際協力の現状と可能性	早川	笹川平和財団/ オタゴ大学 大学院	
	ドイツ・ブレーマーハーフェン市における洋上風力産業振興の成功要因 —経済振興組織の役割に着目して—	竹内	名古屋大学 助教	

日本海洋政策学会 年次大会講演・発表者

	いわゆるグレーゾーン 事態における強力的 措置と国際法 ー外 国船舶への対応を中 心にー	吉田	海上自衛隊	
	沿岸域総合管理の管 理組織と多段階管理 仮説	日高	近畿大学教授	
	海洋予測システムの 活用による研究者と 市民社会の沿岸域総 合管理に向けた協創 可能性	美山	海洋研究開発 機構主任研究 員	
	対馬・五島における国 立・国定公園の海洋 保護区のECO-DRRと しての機能	清野	九州大学准教 授	
	地方公共団体におけ る一般海域の管理に 関する条例の現状	中原	横浜国立大学 客員教授	
パネルディスカッション	テーマ 「海洋の持続可能な開発と保全」			
	モデレータ	道田	東京大学教授	
	パネリスト	荒川	東京大学教授	
		柴山	早稲田大学教 授	
白山		海洋研究開発機 構研究担当事務		

日本海洋政策学会 年次大会講演・発表者

		<p>中田</p>	<p>水産総合研究センター研究主幹</p>	
		<p>許</p>	<p>立教大学准教授</p>	
<p>ポスターセッション</p>	<p>①サクラマスを用いた水圏環境教育プログラムによる流域の内発的発展に向けた取り組み 水谷 史門(東京海洋大学大学院)</p> <p>②COMMUNITY-BASED ECOTOURISM IN THE CREATION OF A JAPANESE MODEL OF ECOTOURISM CORRIDORS. CASE OF STUDY: HEI RIVER, IWATE PREFECTURE Nieda Tsuyoshi Eduardo(東京海洋大学大学院)</p> <p>③さけ・ます流し網漁とさんま棒受け網漁の兼業船の現状と大型化に関する一検討 南澤正樹((株)三保造船所 課長補佐)</p> <p>④海洋深層水の大規模な活用を進めようー日本の輝かしい未来のためにー 久田 安夫(NPO海ロマン21 理事長)</p>	